

通年テーマ「こころと身体」

「こころ」と「身体」は互いに影響し合い、こころから身体へアプローチもすれば、身体からこころにアプローチすることもあります。身体の状態からこころの状態を読み取ることもしているでしょう。その密接に関わる「こころ」と「身体」をさまざまな視点から学び直し、改めて考えたいと思います。ぜひ一緒に考えていきませんか。

開催日	時間	講師	予定内容
1 6月23日(日)	10:30~15:00 オンライン	東豊先生 (龍谷大学)	システムズアプローチ(家族療法)の中の身体性: システムズアプローチでは主に家族システムへの働きかけをするが、その中で身体性を扱う場面はどのように生じ、どう扱うのか。
2 7月28日(日)	13:30~17:00 対面	林滋子先生 (会員・マインドフルネス実践会)	マインドフルネスの体験から: 実際にマインドフルネスを体験し、それぞれ参加者の身体へ意識を向けるところから考えたい。
3 11月24日(日)	10:30~15:00 オンライン	作業療法士 ※交渉中	身体へのアプローチと作業療法: 身体への働きかけの専門家である作業療法士の方から、まさに身体へのアプローチについて学び、心理士としての視点との連携を考えたい。
4 12月1日(日)	13:30~17:00 対面	飛谷渉先生 (大阪教育大学保健センター)	事例検討会: 飛谷先生をコメンテーターにお迎えして、事例検討会を実施。 ※事例を募集します。出そうか迷う場合もぜひ一度ご相談ください。
5 2月2日(日)	13:30~17:00 対面&オンライン(ハイブリッド)	コーディネーター:住貴浩先生・緒方優子	臨床心理士がする電話相談とは: 当会が受託している電話相談は、相談員全員が臨床心理士という実はあまりないことである。その電話相談ならではの特徴を今回は「身体」をキーワードに考えたい。
6 3月9日(日)	13:30~17:00 対面	大久保純一郎先生 (こども家庭福祉部会担当理事)	発達検査から身体性を考える: K式発達検査の作成者の一人である大久保先生をお迎えし、ローデータからどう結果を読み取り、特に身体的な面をどう見立てるかを考える。

【本研修について】

- 1)本研修について:(財)日本臨床心理士資格認定協会の定める教育研修規定に基づく継続研修です。
奈良県臨床心理士会が主催する研修であり第2条(2)に当たります。
- 2)研修ポイントについて:5回以上の受講者は4ポイントを申請予定です。
- 3)参加申込みについて:各回の1ヶ月程度前に全体MLおよびHPにてご案内をいたします。
- 4)参加資格:当会会員(正会員・準会員)※対面研修は非会員臨床心理士も可
- 5)参加費:無料
- 6)運営について:本研修は会員有志による運営を目指します。運営にご協力いただける方はぜひお申し出ください。